

ネットパトロールだより

平成24年2月2日
相模原市立総合学習センター
〈学習情報班〉

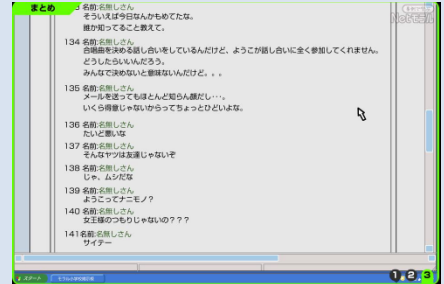


知らぬ間に広がっている「ネットいじめ」

学校や部活動の仲間で軽い気持ちで始めたものが、何気ない一言から端を発し、特定の子への誹謗中傷へとエスカレートしていくのが「ネットいじめ」です。今回は、このことに取り組んだ中学校の授業を紹介します。



音楽会の発表曲について相談されたヨウコは、面倒くさそうに答えた。その態度が掲示板に書きこまれ、あっという間に誹謗中傷が広がった。それを見たヨウコは学校を休むようになってしまった。



授業の流れ	
導入	(1)いじめとは何かを考える。 — いじめの定義（文科省）を知る。 ○あなたにとって「いじめ」とはどんなものをいいますか。 (2)いじめはインターネット上でも起こることを知る。 — 「裏サイト」「チェーンメール」等 ○ネットいじめとは、どんなものがありますか。
展開	Netモラル「B_15 ネットいじめ」（コンテンツサーバ内収納）を視聴する。 (3)ネットいじめについて考える。 （4人1グループで、A3用紙に記入し黒板に貼る） ○ネットを使うことには、どんな特徴・影響がありますか ・情報が広がる。匿名性がある。誰でもできる（第三者が介入しやすい）。転校先でいじめられる。 ○ネットいじめにあったら、どうすればいいと思いますか。 ・大人に相談する。画面やメールを保存したり、印刷しておく。悪質な場合は警察に連絡する。
終末	(4)授業後の感想 — 後日、感想を紹介し、他者の考えにふれる。

生徒の感想 ネットはいろいろな人の意見を知ることができるから良いと思うけど、それがとても悪質なことだったり、人を傷つけることになったりしたら、ネットの意味がないと思います。もし、そういうことになったら、大人に相談したり、メールを無視したりすることが大切だと思いました。

この他にも、チェーンメールがきたので、友だちやお母さんに相談して良いアドバイスをしてもらったなどの感想がありました。「ネットいじめ」がなくなる現実を踏まえ、このようなネットトラブルから自分の身を守ることを学ぶ授業実践が、子どもたちが安心して生活できる学校づくりにつながっていくのではないのでしょうか。

インターネットは、匿名ではありません。

警察からの要請があれば、IPアドレス等から書き込んだ本人を特定することができるので、このことを子どもたちにきちんと知らせる必要があります。

1月のネットパトロール状況

学校裏サイト

「学校裏サイト（1/19現在）」

571サイト（小学校155・中学校416、前月比+8）

- パスワード・会員登録が必要なサイト数 217件（前月比+4）
- 個人情報が掲載されているサイト数 58件（前月比±0）
- 誹謗中傷が書き込まれているサイト数 22件（前月比+1）
- 不適切な内容の書き込みがあるサイト数 9件（前月比±0）

問題のあるプロフィールサイト（プロフ）

「問題のあるプロフィールサイト（1/19現在）」

778サイト（小学校1・中学校777、前月比+40）

- パスワード・会員登録が必要なサイト数 368件（前月比+26）
- 個人情報が掲載されているサイト数 1231件（前月比+58）
- 誹謗中傷が書き込まれているサイト数 17件（前月比-1）
- 不適切な内容の書き込みがあるサイト数 147件（前月比+19）

新しく見つかる裏サイトは、開設者・管理者が中学1年生のケースが増えています。受験で3年生が減り、その分、中学校生活に慣れてきた1年生が、冬休み中に開設しているようです。

裏サイトを監視しているサポート事務員より

○年末年始の中学生の飲み会自慢ですが、分かっているだけで4件ありました。

「24日は夜、〇〇が家にきて 〇〇家でクリスマスパーティーしたよ

そんで吞んでみんな酔っぱらい」

「DVD みながら皆で吞んだ～」

「ラブラブでしょ 酔ってるから顔真っ赤か」

「外オールで吞み まだまだわかいね！」



○プロフの伝言板にCDやDVDの違法コピーを無料で請け負うという記述がありました。



毎掲載していますが、このような内容がツイッター（twitter）等で広がると、ブログやプロフを手がかりに犯人捜しが始まり、たった1時間で、本人の名前、学校名、住所が、特定され、顔写真や家の写真までインターネット上にアップされた事例があるとされています。

- 保護者向けの研修会に講師として指導主事を派遣しています。
- 学校裏サイトに関する相談も随時受け付けています。

連絡先：相模原市立総合学習センター学習情報班 Tel 042-754-2577

